7・7予算要求中央総決決起大会

日時　7月7日（水）
時間　8:30
場所　東久留米駅上りホーム

けんせつ 清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751 FAX 042-473-8753
http://www.tokyodoken.info/
発行者　鈴木勝雄
編集者　角　毅征

拡大目標全分会達成!!

4、5月と続いた拡大月間を終え、厳しい建設不況の中、全都で4800人を超える拡大成果を上げました。

清瀬久留米支部としても、支部目標66人を超過する69人を拡大しました。全分会目標数達成に至った事が、支部の拡大目標数を超過する原動力にも繋がったと考えます。青年部・シニア・主婦の会も左の表にあるように、拡大目標を達成し、自動車・火災共済の方も本部目標を達成することが出来ました。

2ケ月に渡る長い拡大月間を乗り切れたのも、組合員とその家族の支えがあったからこその結果だと思います。皆様大変お疲れさまでした。

6月に入りましたがあと3カ月もすればまた秋の、拡大月間が始まります。

春の拡大月間をやり遂げて

今、世の中では大手建設企業をも不況の波で飲み込まれようとしています。

その中、中小企業の仲間達は何とかその波から振り落とされないよう頑張って来ましたが、今はその波から落とされ、倒産せざるを得ない仲間も多く出ました。

今回の拡大は前回同様厳しいものになると思いながらも、スタート致しました。

青空の役員及び組合員が各家庭に訪問し、対象者の方を何人か紹介して頂けて、なんとか目標を達成することが出来ました。

今回の拡大行動の中では、この間に支部に配属になり、青空分会担当となった、新人書記の角さんがやる気を前面に出し、蔭では6月18日付で退職する中山さんがアドバイスを送る面も見え、今振り返れば、あっという間の楽しい拡大行動月間でした。

組合員の皆さま、青空分会の皆さまご苦労様でした。

青空分会　橋口昌之

支部でも対象者の掘り起こしを始め、秋の拡大月間に向け早くも動き出そうとしています。一月現勢復帰を目指し、秋の拡大月間に向け仲間一丸となり頑張りましょう。

書記局　角　毅征

春の拡大！　拡大成果表!!

	月間目標	拡大数	結　果
元　塩	5	5	達成
松　竹	2	2	達成
清　里	5	5	達成
滝　山	6	6	達成
三　葉	9	9	達成
北　浅	5	5	達成
南　町	2	3	超過達成
青　空	4	4	達成
事業所	15	17	超過達成
直　属	13	13	達成
合　計	66	69	超過達成
青年部	8	9	超過達成
シニアの会	8	8	達成
主婦の会	17	17	達成

拡大月間無事終了!!
あり・おめ対象者を交えて歓びの祝賀会

三葉分会あり・おめ会
「ガンバロー!!」

青空分会あり・おめ会
「対象者の親とのふれあい」

東久留米市自治体キャラバン

5月18日（火）に東京春闘会議側6名（うち2名土建）、東久留米市側は西村企画経営室職員課長をはじめ6名で自治体交渉を行ないました。

「雇用確保、賃金水準引き上げ」「公契約条例をはじめ公共工事、業務委託等の公正な賃金労働条件の改善」「失業者の雇用対策強化」を求め要請・懇談しました。

雇用確保、賃金水準の引き上げについては26市の中でも非常勤職員の割合が高く正職員の少なさは議会でものべられている、近隣市の勤務条件を参考に改善を図っていくと回答がありました。公契約条例については、国分寺などを参考しながら検討していくと回答があったものの具体的に進んでいない状況でした。

失業者の雇用対策については、生活保護の件数も昨年に比べて二桁増加している状況で財源がもたない、雇用確保の重要性はわかっていても自治体では予算も限られているので政府が対策をたてないと抜本的解決にはならないと回答がありました。

また、一度生活保護をうけると中々抜け出せない人が多く、市の非常勤を職員の仕事を進めても賃金が生活保護費より少なく長く続かない現状があり、賃金水準の低さが社会復帰を困難にさせている問題につきあたりました。

個別の内容では市の職員の地域手当については16%から6%に減額し、臨時職員の時給は830円から840円、学校用務員については930円から950円にアップしたという話がありました。

書記局　伊藤　丈弘

自由研削砥石特別教育 開催のお知らせ

日時　6月27日（日）
午前9時～午後5時
会場：東京土建
清瀬久留米支部
受講料　6,800円
プラス850円で昼食付き
受講定員　50人
受講資格　18歳以上
希望者は支部へ
連絡下さい。

分会は皆で作り上げる！

本年度の支部定期大会も無事に終わり、あまり代わり映えのしない分会役員での新年度がスタートしました。

このままではまずい‼

下がり続ける賃金とは逆に、毎年上がってしまう分会役員の平均年齢‼手遅れになる前に何とかしなければ…

その中で組合員訪問を行なうと、よく聞く組合員の声があります。「組合の行事にも顔を出して下さい」組合員「ちゃんと組合費払っているから良いだろ！」「はい、でも一緒に組合行事に参加しましょう」

組合員「行事なんか忙しいから出られない！」

「まずは顔を出して頂くだけでもいいので来て下さいよ」

組合員「行事になんか出たら最後、役を押し付けられる！」

「はい、かりに何かお手伝いして貰うことになっても、難しいことでは無いですから」

組合員「やっぱり面倒だからいいや！」

「正直面倒でいやな時もあります、でも楽しいことや助かることもいっぱいあります」

「もったいないですよ、高い組合費を払っているのに、せっかくだから払うだけじゃなく参加して組合のことを知り、感じてもっともっとみんなの組合を盛り上げ、仕事に遊びに活用しましょう」

このようなやり取りの中、対象者訪問を行ない、春の拡大月間で10代・20代・30代と3人の若い仲間が増えました。

9月には分会30周年式典を盛大に行えるよう、そして東京土建に入って良かった、清瀬久留米支部で良かった、南町分会で本当に良かったと思えるように、組合や分会を盛り上げていきます。

厳しい時代ですが南町分会は明るく、皆笑顔で楽しい分会です。皆で助け合い、皆に分会役員をやってもらい、分会から支部役員を送り出せるような分会にしていく為、今後も活動していきたいと思います。

南町分会　荒牧　孝好

エコポイント学習会開催

5月21日金曜日、支部事務所において、エコポイント学習会が21名の参加のもと本部仕事対策の秋本尚美書記を講師に招き、片見部長の進行のもと、パワーポイントで資料の説明をうけながら学習しました。この制度は全建総連からの要求のもとに始まり、予算1000億円で、東京のリフォーム市場6000億円見込まれているとの事でした。

申請については支部が受付窓口になっています。

対象は①窓の断熱改修（内窓の設置、窓そのものの交換、ガラス交換）②外壁・屋根・天井・床の断熱改修。また①又は②と併せてバリアフリーリフォーム（トイレ手すり取付など）を行なうと、その工事にもエコポイントが付きます。

2010年12月31日までに着工すれば、2011年3月31日にエコポイントが発行されます。

エコポイントが利用できるエコリフォームは、2011年6月31日までの申請期間となっています。

交換申請期間は2013年12月31日までです。

詳しくはパンフを参照の上支部へ。

仕事起こしの為、皆で営業し大いに活用しましょう。

教宣部　　鈴木　勝雄

5月30日支部集団健康診断開催

5月30日（日）東久留米第一小学校体育館で行なわれた支部集団健康診断では450人を超える申し込みに対して、380人程の受診者数でした。

受診者の方、実行委員の方ご苦労様でした。

当日は、心配されていた雨にも降られることなく天候に恵まれました。

当日胃のレントゲンや聴力測定などで混雑は見られましたが、実行委員の柔軟な対応もあり、大きな問題もなく無事終える事が出来ました。

しかし、100人近い当日のキャンセルがあり、6月13日清瀬小学校体育館にて行なわれる2回目の健康診断は、より一層の万全な準備と実行委員の柔軟な対応が求められそうです。

中山書記7年間お疲れさまでした

私は2003年3月に大学を卒業して、はじめての就職が東京土建でした。社会に出たばっかりの私はみなさんからたくさんの事を教えていただきました。

入った当時、厚生文化部の担当になり、秋には清瀬市下宿の体育館で運動会を取り組みました。初めてで何もわからなかった私でしたが部長や部員のみなさん、多くの組合員と主婦の方に協力していただき、なんとか成功できたことを今でも覚えています。

今年の4月で7年になり、教宣部と青年部と労働対策部を主に担当してきました。私情により6月18日の市民集会を最後に、東京土建を辞めることになりました。長い間本当にお世話になり、ありがとうございました。

書記局　中山　郷

6・18市民大集会

6・18きよせ怒りのつどい

日　時	6月18日（金）
場　所	清瀬商工会館ホール
内　容	団体・現場からの報告
パレード	19時30分～

6・18東久留米市民大集会

日　時	6月18日（金）
場　所	東久留米市商工会館
内　容	団体・現場からの報告
パレード	19時30分～

思い出

優しい旅人

昭和36年11月頃から、私は日雇い専門の新宿公共職業安定所高田馬場労働出張所に登録して日雇労務者となって身を粉にして働いた。

消防官の時から親しくしている弁護士が見かねて私を中野区役所の正職員に入れてくれたが、5年で辞めて高田馬場に戻ってきた。

昭和37年4月、私は東京消防庁非常勤消防職員に採用され、中野消防団本部に勤務した。仕事は火事と救助と訓練だけだ。

日雇いで行った先は左官屋や鳶に道路工事の他、瓦屋の手元など転々とした。

下水道工事では老練な掘り師として多くの下請け業者から信頼された。私には若い妻と3歳になる娘がいた。私はドカタから足を洗いたかった。

昭和50年5月、私は市ヶ谷の日本連合警備株式会社に正社員として働いたあと大型ダンプの運転手に転職した。

いつだったか日にちは忘れてしまった。私は急ぎの荷を積んで保谷の裏街道、栗原に抜ける道を走っていた。突然若い女性の悲鳴が、すぐそばで聞こえた。私は急ブレーキを踏んだ。私の左側方、五歩位の地点から三才位の女の子が小走りで出て来た。反対側に居る母親の方に向かって私は急ブレーキと同時にハンドルを右一杯に切って反対車線に入って停止した。子供に怪我は無い。私は安心して現場に向かって走り続けた。

松竹分会　後藤　孝